

令和6年第4回大野城市議会9月定例会一般質問通告

○本会議（3日目）一般質問

令和6年9月18日（水） 午前9時30分 （於 議 場）

議員氏名	件 名
森 和也	- DX推進について - プロジェクトチームについて - 大野城市DX推進計画に掲げる各取組の状況について - 大野城市DX推進計画に掲げる今後検討する取組について - ペーパーレス化の推進について - 学校や職場内でのいじめやハラスメントについて - 学校におけるいじめについて - 職場におけるハラスメントについて
大塚 みどり	- 市職員の良好な職場環境について - パワーハラスメント実態調査のアンケートについて - 西日本新聞で記載された市長や副市長答弁の記事について - 子育て世帯の支援について - 子育て世帯の訪問支援事業を推進することについて
平田 不二香	- 市内業者の育成と地域経済の活性化のために - 業務の委託について - 市民が安心して暮らせる大野城市であるために - 本市に関わる報道について - ハラスメント防止対策について
岡部 かおり	- 地域循環型社会について - 本市のゴミ減量・資源化の現状について伺う - 循環型社会の構築の一環として廃食用油を再生化する取り組みについて伺う - 地域全体で子育てを支える仕組みづくりについて - 切れ目のない子育て実現の為に、本市が特に力を入れている事業は何か伺う - 子ども相談センターで、一番多い相談内容を伺う - 子育て応援のために経済的な支援として、0歳児から2歳児のいる家庭に対し、知識のある配達員が子ども用品を配達し、日々の子育ての不安や悩みの相談を受ける「おむつ定期便」のような事業を導入してはどうか。子育て家庭の経済的負担の軽減にもつながると考えるが本市の見解を伺う - 青少年の居場所「ユープレ」を設立した経緯と、利用年齢がなぜ中学生から29歳までの若者となったのか伺う
中村 真一	- 市有施設の空調設備設置状況について - 小中学校の施設の空調設備の設置状況は - 避難所として利用予定の施設の空調設備の設置状況と点検方法は - 総合体育館内の空調設備について - 市営住宅の空調設備について - 市立保育所の空調設備について

中村 慎一郎	1. 公園の利活用について (1) 公園と広場の現状について (2) 高架下に設置予定の交流広場及び下大利駅北側公園の所管について (3) 同時に2か所以上または様々な場所の公園及び広場において、豊田市の「あそべるとよたプロジェクト」のようなにぎわいづくりを目的とした公園の利活用は可能か 2. 市及び公民館等のホームページ等の管理と情報発信について (1) 市及び各コミュニティセンター、公民館のホームページの管理や更新の現状について (2) 更新スタッフへの支援、セキュリティ及びネットリテラシー研修について (3) LINE や YouTube 等を活用した情報発信について (4) 市民への情報発信、あるいは市民によるイベント紹介などの情報発信のためのミニスタジオ等を庁舎内に設置できないか
--------	---

○本会議（４日目）一般質問

令和６年９月１９日（木） 午前９時３０分 （於 議 場）

議員氏名	件 名
永利 恭子	１．中学校の昼食と中学校給食選択制度向上委員会について (１) 中学校の昼食で、昨年度以降新たに選択制を採用した自治体はあるか (２) 中学校給食選択制度向上委員会の目的と位置づけはどうなっているのか (３) 中学校給食選択制度向上委員会の委員長は教育学、栄養学、社会学などの専門家ではない。当該委員会の目的はランチ給食の喫食率を上げることに限られると思うがいかがか (４) 給食センターを作って選択制にすることもできるし、業者を変更するなどして喫食率を上げることも考えられるがいかがか (５) 本市の中学生の比較的良好な食習慣や学力が、選択制と関連しているかのようにＰＲすることは不適切と思うがいかがか ２．メンタル不調職員とパワーハラスメントに関する新聞報道について (１) 令和５年９月７日に制定した「大野城市職員のハラスメントの防止に関する規程」は、どのような理由と経緯で策定されたのか。この規程で市長、副市長からのハラスメントにも対応できると考えていたのか (２) 当事者から７件、第三者から１件の相談が窓口寄せられたとのことであったが、具体的にどこに相談があり、どのような内容だったか (３) ハラスメントの有無を判断するにあたって、判断項目や基準はあるか。誰がどのような調査で事実確認し、どのような基準でハラスメントに該当しないと判断したのか。その判断は６人の相談員の総意によるものか。また、６月定例会の一般質問では、総務財政部長が「ハラスメントに該当するものではなかった旨報告を受けている」と答えている。相談について上司に報告する仕組みなのか。秘密は守られているのか (４) メンタルヘルス（心の健康）の不調に伴う病気休暇休職者数が、この５年で延べ６０人に上る。市長は、西日本新聞社の聞き取りに対し、「うちだけが多いのかどうか比較検討の数字がないようなので分からない」、「いろんな手を打っているので組織的に、あるいは政策的に問題があるとは思わない」と答えているが、少なくとも組織の長としての責任があるのではないか (５) 新聞記事には、「相談や審査できる制度があるので、堂々と言ってくるべきだ」との市長の発言もあった。この発言は、職員が訴えをやめることにつながるのではないか。また、市長がこのような態度では、第三者機関も十分に機能しないのではないかと心配になる。どう考えるか (６) 新聞記事に書かれた証言内容が事実であれば、必要かつ相当な範囲を超え十分にパワハラにあたると思うがどうか (７) 新聞記事には副市長のあまりの声の大きさに、同席した市長が「ドアを閉めなさい」と促したこともあったと書かれていた。副市長が大声で叱責することがあってそれを容認したようなことがあったのか (８) 他の幹部職員のパワハラについて市長は見聞きしたことはないか (９) 職員の疲労感や閉塞感、職場の風通しの悪さを心配する市民もいる。市長が職員を委縮させ、職員が市長に進言できなくなっていることも原因ではないか。市長として今後どのように対応していくつもりか

河野 敏生	1. 不登校児童生徒の社会的自立の取組の一つとしての「健康診断」について (1) 不登校児童生徒の健康リスクについて (2) 不登校児童生徒の社会的自立の一つとしての健康診断について 2. 不登校児童生徒の社会的自立の取組の一つ「フリースクール利用児童生徒支援補助事業」について (1) 不登校児童生徒の社会的自立の取組「フリースクール利用児童生徒支援補助事業」について 3. 「不登校0の大野城市」をめざすために (1) 「不登校0の大野城市」に向けての進展について 4. 全国学力・学習状況調査や福岡県学力調査などの過去問、練習問題等について (1) 全国学力・学習状況調査に対し事前の取組が持つ問題点について (2) 福岡県学力調査に対しての過去問や練習問題、宿題等の取組について
原田 真光	1. 交通安全の取組について (1) 本市において、1年間に発生している交通事故の発生件数の推移を伺う (2) 本市において、交通事故の発生状況について、市は把握しているのか伺う (3) 上記の危険な交差点等について、どのような対策を行っているのか伺う (4) 信号機のない横断歩道に横断者注意喚起灯と呼ばれる設備を設置することで、交通事故発生の可能性を減らすことができると考えるがいかがか 2. HPVワクチン（子宮頸がんワクチン）について (1) 本市ではHPVワクチンの定期接種を行っているが、その対象者と接種件数の推移は (2) HPVワクチンは、女子だけではなく、男子が接種することの有効性が確認されており、他の自治体では男子への接種の助成を行っているところもある。本市でもHPVワクチンの男子への公費での接種を開始すべきだと考えるがいかがか

松崎 百合子	1. HPVワクチン接種の重篤な副反応と子宮頸がんの予防・治療のため検診の推進について (1) 子宮頸がんの予防接種として、HPV（ヒトパピローマウイルス）ワクチンが、2010（平成 22）年度に接種緊急促進事業が開始され、2013 年（平成 25）年4月からは法律に基づく定期予防接種になった。ところが、全国各地より接種後の重篤な副反応の報告があがり、2013 年6月14 日に積極的勧奨の中止となった。それから9年、2022 年4月よりの積極的勧奨が再開されたことについて伺う (2) 「私たちの健康と未来を返して」と全国 120 名の若き女性たちが提訴しているHPVワクチンのリスクについて (3) HPVワクチン接種の必要性について (4) HPVワクチン接種の通知および周知について (5) 予防効果が低く、重篤な副反応をもたらすリスクが高いHPVワクチン接種を男子へも行うと言われているが、これ以上広げるべきではないと考えるが、市の考えはどうか (6) 子宮頸がん検診の必要性和推進について 2. マイナ保険証と、現行の国民健康保険被保険者証、後期高齢者医療被保険者証の併用、継続使用について (1) マイナ保険証利用低迷の中、本年 12 月 2日から現行の健康保険証は発行されなくなる。命と健康が心配されるがその対応について (2) マイナ保険証のトラブルで 10 割負担を求められて、受診せずに帰ったところ死亡の事例が起きている。本市の状況について (3) 資格確認書について
松崎 正和	1. 大野城市職員の名誉棄損などによる刑事告訴、書類送検について (1) 8月 15 日のテレビ報道によると、大野城市の男性職員が同僚職員から SNSを通して名誉棄損と侮辱を受けたことにより刑事告訴し、警察は捜査の結果、8月 13 日付で同僚男性を名誉棄損と侮辱の容疑で書類送検したとのこと (2) 市職員が書類送検をされた以降、今日まで議会には何の説明も報告も無い。議会軽視も甚だしいと思うがそれでいいのか (3) 先日のパワハラ問題や今回の刑事告訴から書類送検に至る事件、さらには度々新聞報道でみられる事務処理の不手際、これらのことについての市長の率直な思いを伺いたい